



2021年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月14日

上場会社名 株式会社レオクラン

上場取引所 東

コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉田 昭吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 山村 誠人

TEL 06-6387-1554

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	16,878	36.8	850	886.9	862	882.7	588	
2020年9月期第2四半期	12,340		86		87		44	

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 623百万円 (%) 2020年9月期第2四半期 40百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	301.15	299.99
2020年9月期第2四半期	22.92	22.79

(注) 1. 2021年9月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減率は1000%を超えるため「 」と記載してあります。

2. 当社は、2019年9月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	15,692	5,350	33.3
2020年9月期	13,414	4,817	35.1

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 5,232百万円 2020年9月期 4,707百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		45.00	45.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,593	11.8	352	72.6	363	75.5	238	97.0	121.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期2Q	1,955,400 株	2020年9月期	1,954,400 株
期末自己株式数	2021年9月期2Q	79 株	2020年9月期	79 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期2Q	1,954,464 株	2020年9月期2Q	1,921,714 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の脅威が続く中、感染力の強いウイルスの変異株の出現により感染が再拡大し、各国は都市封鎖等の規制強化や延長を余儀なくされる等、非常に厳しい状況が続いております。また、わが国経済においても、緊急事態宣言の再発令や飲食店への営業時間短縮要請等、社会・経済活動が制限される状況が続く中、再び、新型コロナウイルス感染者数が大幅な増加傾向にあり、景気の先行きは、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界におきましても、昨春に大幅に減少した手術数や外来・入院患者数は、回復傾向にあるものの、病院経営は依然厳しい状況が続いております。また、感染再拡大により医療崩壊状態に陥る危険性が高まる中、多くの病院が新型コロナウイルス感染対応への早期拡充を余儀なくされているほか、病床の確保と症状の程度に応じた医療機関間の役割分担等、各都道府県における医療提供体制の再構築が急務となっております。一方で、新型コロナウイルスの収束時期に左右されるものの、今後においては、「地域医療構想」の実現に向けた丁寧な議論の積み重ねにより各医療機関において統合・再編を含めた病床転換が多く実施され、建築を伴う大型の設備投資が見込まれるものと考えております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、従前と同様に、営業エリアを限定せず、全国での受注実績により入手した病院づくりに係る最新の情報を活かし、新築・移転、再編・統合等に伴う医療機器の一括販売の受注のみならず、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム(電子カルテ等)の新規導入及びリプレース案件の受注活動を日本全国で展開しております。

当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続き事業活動における新型コロナウイルス感染症の影響は軽微に留まり、すべての事業セグメントで前年同期に比べて増収増益を確保することができました。特に、主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、今期は上期偏重が顕著な収益構造であり、また、前年同期が大型案件の端境期により売上高、利益ともに低水準であったことから、大幅な増収増益となりました。

以上のことから、当社グループにおける当第2四半期連結累計期間の売上高は、16,878,960千円(前年同期比36.8%増)、営業利益は850,593千円(同886.9%増)、経常利益は862,956千円(同882.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は588,592千円(前年同期は44,044千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① メディカルトータルソリューション事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による足元の受注環境に大きな変化はなく、各案件の進捗は概ね想定どおりに推移いたしました。今期が上期偏重の収益構造となっている主な要因といたしましては、大半の大型案件の売上計上時期が第2四半期連結累計期間に集中していることによるものであります。前年同期に比べて大幅な増益となった主な要因といたしましては、増収効果による売上総利益の増加に加えて、医療機器の一括販売案件等の大型案件のみならず、リプレース案件及びスポット的な新規案件におきましても、深耕営業の強化等により売上総利益率の向上に注力したことが奏功し、また、販売費及び一般管理費が抑制基調で推移したこともあり、営業利益は前年同期に対し742,844千円増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、16,316,178千円(前年同期比37.9%増)、営業利益は781,387千円(前年同期は38,542千円の営業利益)となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客別の需要増減はあるものの、従前と同様に独自性を活かしつつ、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図り、安定した成長基調を維持しております。利益面では、主に増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は前年同期に対し18,958千円増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は327,496千円(前年同期比14.7%増)、営業利益は45,615千円(同71.1%増)となりました。

③ 給食事業

当事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う顧客別の需要増減はあるものの、既存受託施設への販売増加及び新規受託施設の獲得により、緩やかな成長基調を維持しております。利益面では、主に増収効果による売上総利益の増加により、営業利益は前年同期に対し2,603千円増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、235,285千円（前年同期比5.1%増）、営業利益は22,102千円（同13.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,266,358千円増加し、14,464,691千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が116,866千円減少したものの、現金及び預金が2,514,059千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて12,206千円増加し、1,228,177千円となりました。これは、有形固定資産が22,446千円減少したものの、無形固定資産が2,998千円、投資その他の資産その他が31,654千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,278,565千円増加し、15,692,868千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,739,658千円増加し、9,447,664千円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が166,898千円減少したものの、買掛金が1,468,829千円、未払法人税等が284,316千円、その他が150,325千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5,564千円増加し、894,292千円となりました。これは、社債が25,850千円減少したものの、役員退職慰労引当金が12,725千円、退職給付に係る負債が15,337千円増加したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,745,222千円増加し、10,341,957千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて533,342千円増加し、5,350,911千円となりました。これは、主に利益剰余金が500,647千円増加したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて2,514,059千円増加し、6,944,842千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2,800,468千円(前年同四半期は1,668,842千円の減少)であります。資金の増減の主な内訳は、その他流動資産の増加76,046千円があったものの、税金等調整前四半期純利益861,620千円、仕入債務の増加1,468,829千円、法人税等の還付額159,104千円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、6,293千円(同33,960千円の減少)であります。資金の増減の主な内訳は、保険積立金の解約による収入が45,945千円あったものの、有形固定資産の取得による支出15,094千円、無形固定資産の取得による支出21,860千円、投資有価証券の取得による支出20,000千円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、280,114千円(同259,569千円の増加)であります。資金の増減の主な内訳は、新株予約権の行使による株式の発行による収入が1,000千円あったものの、長期借入金の返済による支出166,898千円、配当金の支払額87,771千円、社債の償還による支出22,050千円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月13日に公表いたしました2021年9月期の通期業績予想に変更はありません。第2四半期連結累計期間終了時点において、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、既に通期予想値を上回っているものの、新型コロナウイルス感染症拡大等により、来期へ期ずれや先送りとなる案件が発生する恐れがある等の不確定要素が多くあることから、概ね期初想定どおりに推移していくものと見込んでおります。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

また、現時点における新型コロナウイルスによる業績への影響は軽微であると考えておりますが、今後、感染拡大が深刻化もしくは長期化した場合には、事業への影響が出てくる可能性があります。引き続き、事業及び業績に与える影響を精査してまいりますとともに、開示の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,450,782	6,964,842
受取手形及び売掛金	6,652,898	6,536,031
商品及び製品	58,943	33,703
原材料及び貯蔵品	1,645	1,483
その他	1,034,469	929,116
貸倒引当金	△407	△486
流動資産合計	12,198,332	14,464,691
固定資産		
有形固定資産	443,501	421,054
無形固定資産	89,996	92,995
投資その他の資産		
その他	682,479	714,134
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	682,473	714,127
固定資産合計	1,215,971	1,228,177
資産合計	13,414,303	15,692,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,282,713	7,751,542
1年内償還予定の社債	44,100	47,900
1年内返済予定の長期借入金	166,898	—
未払法人税等	16,811	301,127
賞与引当金	85,333	85,918
役員賞与引当金	9,700	8,400
その他	1,102,450	1,252,776
流動負債合計	7,708,006	9,447,664
固定負債		
社債	127,100	101,250
退職給付に係る負債	323,039	338,376
役員退職慰労引当金	360,630	373,355
その他	77,958	81,310
固定負債合計	888,728	894,292
負債合計	8,596,734	10,341,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	536,169	536,669
資本剰余金	495,744	496,244
利益剰余金	3,580,917	4,081,565
自己株式	△166	△166
株主資本合計	4,612,665	5,114,313
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,859	117,793
その他の包括利益累計額合計	94,859	117,793
非支配株主持分	110,044	118,804
純資産合計	4,817,569	5,350,911
負債純資産合計	13,414,303	15,692,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	12,340,474	16,878,960
売上原価	11,197,387	14,985,778
売上総利益	1,143,087	1,893,181
販売費及び一般管理費	1,056,894	1,042,588
営業利益	86,192	850,593
営業外収益		
受取利息	365	379
受取配当金	3,885	2,673
保険解約返戻金	—	7,074
その他	462	4,862
営業外収益合計	4,713	14,990
営業外費用		
支払利息	1,212	861
支払保証料	583	453
シンジケートローン手数料	1,000	1,000
その他	296	311
営業外費用合計	3,092	2,626
経常利益	87,813	862,956
特別損失		
固定資産売却損	—	1,335
特別損失合計	—	1,335
税金等調整前四半期純利益	87,813	861,620
法人税、住民税及び事業税	32,485	286,518
法人税等調整額	4,240	△25,849
法人税等合計	36,726	260,668
四半期純利益	51,087	600,952
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,042	12,359
親会社株主に帰属する四半期純利益	44,044	588,592

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	51,087	600,952
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,196	22,934
その他の包括利益合計	△10,196	22,934
四半期包括利益	40,891	623,886
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,848	611,526
非支配株主に係る四半期包括利益	7,042	12,359

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	87,813	861,620
減価償却費	44,941	46,159
固定資産売却損	—	1,335
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,561	79
保険解約損益(△は益)	—	△7,074
受取利息及び受取配当金	△4,250	△3,052
支払利息	1,212	861
売上債権の増減額(△は増加)	△1,654,787	116,866
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,447	25,402
仕入債務の増減額(△は減少)	416,193	1,468,829
賞与引当金の増減額(△は減少)	△30,373	585
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	14,375	12,725
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,000	△1,300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13,579	15,337
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61,319	119,538
その他の流動資産の増減額(△は増加)	22,355	△76,046
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△185,029	74,311
その他	235	△148
小計	△1,376,062	2,656,029
利息及び配当金の受取額	4,449	3,168
利息の支払額	△1,195	△782
法人税等の支払額	△296,033	△17,051
法人税等の還付額	—	159,104
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,668,842	2,800,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,827	△15,094
有形固定資産の売却による収入	—	6,352
無形固定資産の取得による支出	△17,260	△21,860
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
投資有価証券の償還による収入	—	10,000
保険積立金の積立による支出	△3,836	△3,836
保険積立金の解約による収入	—	45,945
敷金及び保証金の差入による支出	△4,157	—
敷金及び保証金の回収による収入	120	—
投資その他の資産の増減額(△は増加)	—	△7,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,960	△6,293

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30,000	—
長期借入金の返済による支出	△14,166	△166,898
社債の償還による支出	△22,050	△22,050
リース債務の返済による支出	△926	△795
株式の発行による収入	399,924	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,000
自己株式の処分による収入	4,968	—
配当金の支払額	△71,280	△87,771
非支配株主への配当金の支払額	△6,900	△3,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	259,569	△280,114
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,443,233	2,514,059
現金及び現金同等物の期首残高	6,162,281	4,430,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,719,048	6,944,842

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,831,021	285,575	223,876	12,340,474	—	12,340,474
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,831,021	285,575	223,876	12,340,474	—	12,340,474
セグメント利益	38,542	26,656	19,499	84,697	1,494	86,192

(注)1. セグメント利益の調整額1,494千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,316,178	327,496	235,285	16,878,960	—	16,878,960
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,316,178	327,496	235,285	16,878,960	—	16,878,960
セグメント利益	781,387	45,615	22,102	849,104	1,488	850,593

(注)1. セグメント利益の調整額1,488千円は、セグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。